

北海道名寄市（平成26年3月20日作成）

- JR名寄駅西側の中心市街地を「集約地域」として位置付け、都市機能と公共サービスの集約化を目的として、地域交流センターの整備、コミュニティバスの実証運行、街路灯のLED化などを通じて、持続可能でコンパクトなまちづくりの推進を目指す。
- 「都市機能の集約」、「公共交通」、「建築・エネルギー」、「水と緑」の4分野において様々な取り組みを実施する計画。

■将来都市像

にぎわい・産業・文化が調和する低炭素でコンパクトなまち

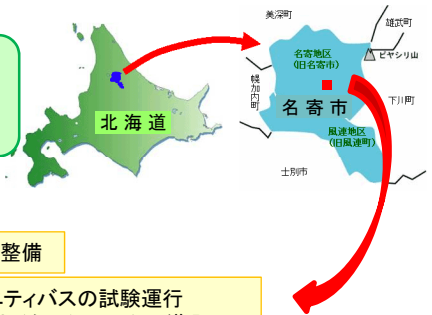
■計画の全体像

【分野】	【目標】	【施策方針】	【施策内容】
都市機能の集約	中心市街地への都市機能の集積と市街地の拡大抑制による「コンパクトなまちづくり」	■市街地の拡大抑制	・良好な農地との健全な調和（都市計画区域の除外の検討） ・用途規制の転換・純化・複合化（都市構造にあった用途の変更）
		■都市機能の集積（交流拠点の形成）	・地域交流センターの整備（市民会館のホール機能の移転集積） ・文化センターの改善 ・コミュニティFMの機能強化
		■まちなか居住の推進	・冬に強い安心して暮らせるまちづくり ・まちなか居住を推進する公営住宅の検討整備
公共交通	市民の足を確保し、都市機能を効果的に結び「人と環境にやさしい交通環境の形成」	■市民の足を確保する公共交通の整備	・市民の移動ニーズにあったバスの運行 ・デマンド型交通による地域の足の確保 ・レンタサイクルシステムの導入
		■スムーズな交通流動を促す案内表示の充実	・公共施設案内標識の整備 ・観光情報案内板の整備
建築・エネルギー	地域に賦存する再生可能エネルギーを活用した「効率的なエネルギー利用の推進」	■新エネルギーの導入・省エネルギーの推進	・低炭素建築物の導入促進 ・公共施設における新エネルギーの導入検討 ・市民への普及啓発の推進
水と緑	まち歩きが楽しくなる魅力ある「歩行環境の形成」	■まちの軸となる歩行環境の整備	・安全で安心して歩ける道路の整備 ・商店街のファサード整備
		■水と緑のネットワークの形成	・都市施設・公共施設等の緑化推進 ・公園・緑地の整備

■計画期間：平成26年度から35年度までの10年間

■計画の目標（二酸化炭素排出量の削減量）

- ・都市機能の集約化：345 t-CO₂/年
- ・公共交通の利用促進：25 t-CO₂/年



■計画区域（約1,052ha）と主な施策

- 市民会館ホールの移転（跡施設の除却・緑化）
- 観光情報案内板の整備
- コミュニティバスの試験運行 レンタサイクルシステムの導入
- 複合交通センター 観光交流センター 地域交流センター
- JR名寄駅
- 名寄市役所
- 商店街のファサード整備
- まちの軸となる歩行環境の整備
- 市立病院
- 浅江島公園
- 地域交流センターの整備（ホールの移転集約）文化センターの改善

地域交流センター・文化センターのイメージ

なよろコミュニティバス

大通り緑地（市民会館跡地）の整備イメージ